

黒羽小学校沿革

年代 出来事 関連人物 備考・資料

文政三年
(一八二〇年)

何陋館創立

○創立者 藩主増陽(ますはる)

「不如学」那須神社に奉納

練武園創立

藩主増業(ますなり)
神道を究めた

現前田地区に創立
国学、漢学を教授

文政六年
(一八三三年)

練武園廃止
何陋館廃止

○創立者 藩主増徳(ますよし)後に増式(ますつね)と改名する



現在の黒羽神社境内に創立
武術を教授



安政四年
(一八五七年)

作新館創立



○命名者 藩主増裕(ますひろ)

何陋館のあったところに
創立 『大関公之碑』勝海舟

明治四年
(一八七一年)

作新館改築
移転

○藩知事 増勤(ますとし)
戊辰戦争の軍功により授与された
賞典禄一万五千石から百五十石を
割いて改築費及び維持費に充てる

大雄寺北側に移転
英学、洋算、医学を教授



明治五年
(一八七二年)

格天井作成

○創立者である旧藩主増式を始め当
時の教官、塾生が揮毫



明治七年

大関私立
して開校

二品親王御揮毫
東伏見宮嘉彰親王
陸軍大将等を
務める

『増勤告文』
扁額『作新館』

明治十一年

「作新館」扁額
を学校取締大沼
涉が寄贈

明治十八年

公立校となり
黒羽東校と改称



明治十九年

校章制定



校章「雁木丸に桜」
旧黒羽藩大関家の雁木丸と桜を組み
合わせたもの



大正二年
(一九一三年)

現在地に移転

○町長室井陣四郎
改築記念に移転した

大正四年

作新館の蔵書を
黒羽町に寄贈大
関文庫として黒
羽小学校が保管

○県知事岡田文次室井
に請われて格天井に
揮毫



昭和五十七年
(一九八二年)
平成二十五年

校舎改築
片田小と統合

○大関増輝子爵が寄贈
格天井も移築

大関文庫が入
つていた土蔵
蔵書は現在
「芭蕉の館」
に移転

